

上水道コンクリート施設防食塗料(ライニング材)

SC-1G 工法

JWWA K 143 適合仕様

(全国上下水道エポキシ工事協会 標準工法 EG工法相当)

この工法は、水道用施設のコンクリート水槽の防水・防食および貯留水の水質の維持を目的に、無溶剤型エポキシ樹脂でガラスクロスを積層するもので、強靱な耐久性に優れた被膜を形成させるものです。

使用材料

工程	商品名	タイプ
下塗り	サンユコート L-265(K143対応)	無溶剤型エポキシ樹脂
補強層	サンユコート L-265又はL-275(K143対応)	無溶剤型エポキシ樹脂
	ガラスクロス EPF 21A	補強材
上塗り	サンユコート L-275(K143対応)	無溶剤型エポキシ樹脂

商品の性状、特徴、使用(配合)については製品技術資料を参照下さい。

施工法及び工程

1) 下地処理

突起物、レイタンス等 不純物除去のため、ディスクサンダーにより処理する。

2) 下塗り

清掃後、無溶剤型エポキシ樹脂をゴムベラ、金ゴテ等により均一に全面塗布する。

3) 中塗り

下塗り材硬化後、無溶剤型エポキシ樹脂をゴムベラ、金ゴテ等により均一に全面塗布し、直後にガラスクロスを貼り付け、十分に含浸させ、さらに無溶剤型エポキシ樹脂にて目止めを行う。

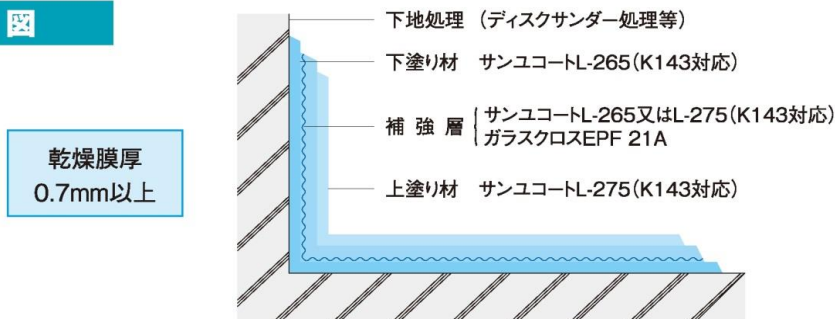
4) 上塗り

中塗り材硬化後、無溶剤型エポキシ樹脂をローラーバケ、ゴムベラ等で均一に全面塗布する。

特記事項

- ① 下地処理は、必ず全面ディスクサンダー等にて処理する。
- ② 場合により無溶剤型エポキシ樹脂に無機系の充填材を混入したものを使用しても良い。
- ③ 補強層のガラスクロス貼り付けの際、脱泡ローラー等を用いて、しわ、浮き等を完全に取除く。
- ④ 上塗りは1~2工程とし、冬場の施工ではゴムベラ等を用いる。
- ⑤ 硬化乾燥後の塗膜の厚さは0.7mm以上とする。

施工図



お問い合わせは

全国上下水道エポキシ工事業協会会員(全エポ協)

サンユレック株式会社 建設材料事業部

本社
大阪営業所
東京営業所

〒569-8558

TEL (072)669-4302

〒103-0027

TEL (03)3273-7415

大阪府高槻市道鶴町3-5-1

FAX (072)669-1239

東京都中央区日本橋1-15-4

FAX (03)3273-7420

(サンユ日本橋1丁目ビル)